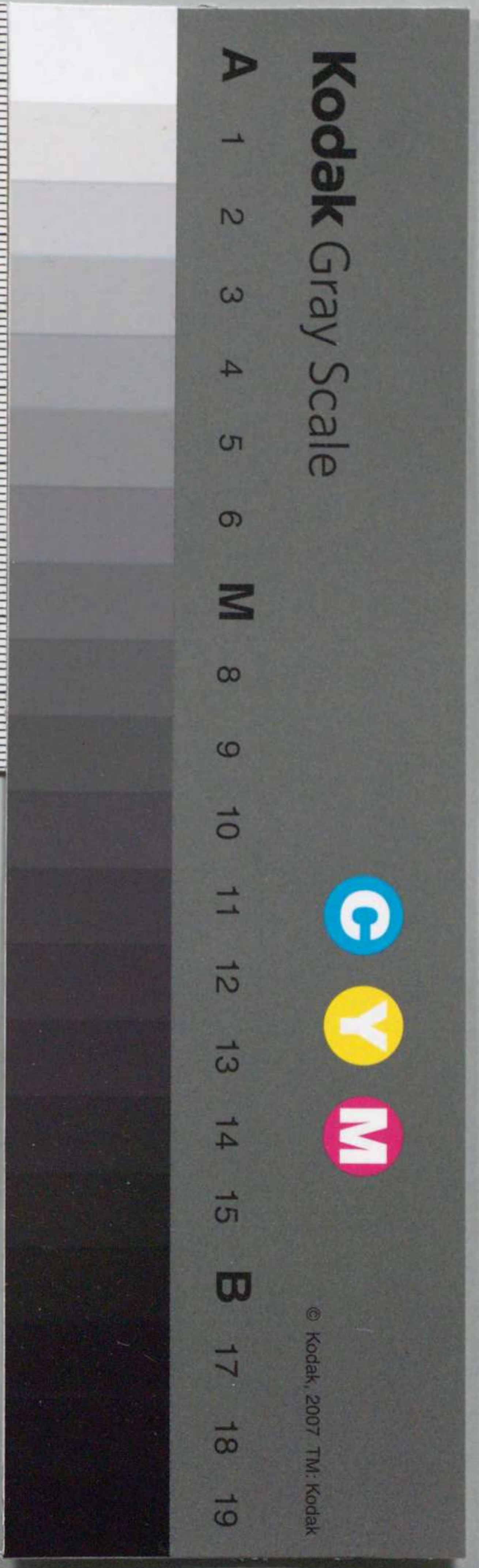


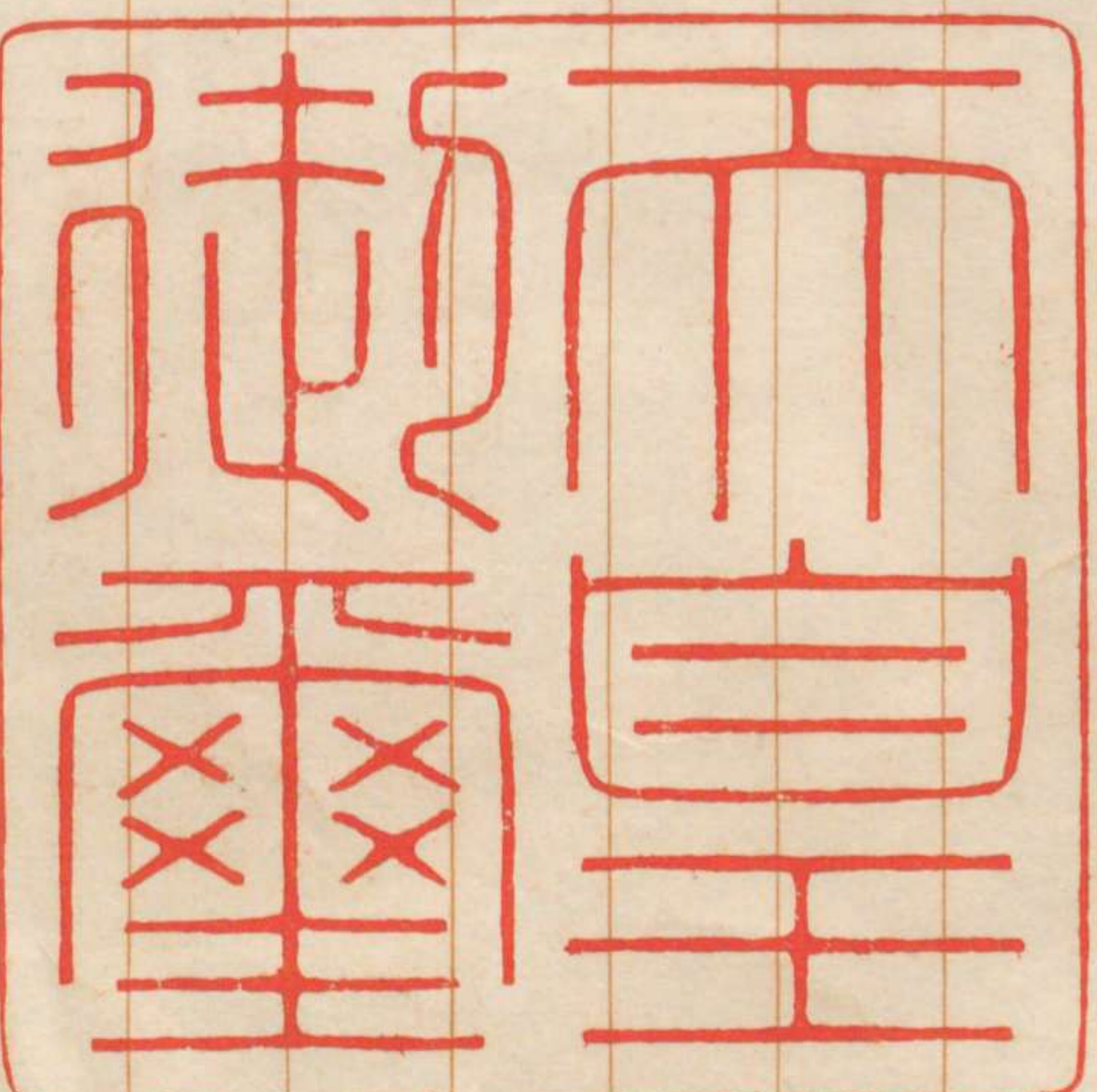
勅令第百二十号

Vertical purple stamp or mark on the right side of the paper.



朕屯田兵條例改正ノ件ヲ裁可シ茲
ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十三年八月二十九日

日

月

陸軍大臣伯爵 大山巖

勅令第百八十一號

屯田兵條例

第一條 屯田兵ハ屯田步兵屯田騎兵屯田砲兵屯田工兵ヲ以テ編成シ北海道樞要ノ地ニ配置シテ其警備ニ充ツ

第二條 屯田兵ハ兵農相兼ヌルノ制トス平常ハ給與ノ兵屋ニ居住シ軍事上ノ訓練及開墾耕稼ニ従事セシム

第三條 屯田兵ハ府縣ヨリ志願者ヲ召募シ本籍ヲ北海道ニ移シ家族ト共ニ

移住セシム

第四條 屯田兵ノ服役期限ハ二十箇年ニシテ現役三箇年豫備役四箇年後備役十三箇年トス

服役期限中滿四十歳ニ至リ又ハ死亡若クハ事故ニ由リ免役シタルトキハ其家族中適當ノ男子ヲシテ兵役ノ殘期ヲ相續セシム若シ適當ノ男子ナキトキハ兵役ヲ免ス

第五條 後備役滿期後十箇年間補充

兵役ニ服セシムルハ事變ニ際シ召集ス

第六條 第四條第五條ノ兵役年期ハ編入年ノ四月一日ヨリ起ス

第七條 各兵役ノ期限既ニ滿ト雖モ戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習或ハ觀兵ノ舉アルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其期限ヲ延スコトアル可シ

附則

移住セシム

第四條 屯田兵ノ服役期限ハ二十箇年ニシテ現役三箇年豫備役四箇年後備役十三箇年トス

服役期限中滿四十歳ニ至リ又ハ死亡若クハ事故ニ由リ免シタルトキハ其家族中適當ノ男ヲシテ兵役ノ殘期ヲ相續セシメ若シ適當ノ男子ナキトキハ兵役ヲ免ス

第五條 後備 後十箇年間補充



兵役ニ服セシメ戰時若クハ事變ニ際シ召集ス

第六條 第四條第五條ノ各兵役年期ハ編入年ノ四月一日ヨリ起算ス

第七條 各兵役ノ期限既ニ滿ツルト雖モ戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習或ハ觀兵ノ舉アルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其期限ヲ延スコトアル可シ

附則

第八條 此條例實施以前ニ召募シタル
屯田兵ハ左ノ區別ニ依リ服役セシム
一 明治八年ヨリ明治十六年迄ニ召
募シタル者ハ明治二十四年ヨリ
四箇年間豫備役ニ服セシメ満期
後九箇年間後備役ニ服セシム
一 明治十七年ヨリ明治二十年迄ニ
召募シタル者ハ明治二十四年ヨ
リ四箇年間豫備役ニ服セシメ
満期後召募ノ年ヨリ起算シ二十

年ニ滿ツル迄後備役ニ服セシム
一 明治二十一年ニ召募シタル者ハ
明治二十五年ヨリ四箇年間豫備
役ニ服セシメ満期後召募ノ年ヨ
リ起算シ二十年ニ滿ツル迄後備
役ニ服セシム
一 明治二十二年以後ニ召募シタル
者ハ此條例ニ依ル
第九條 明治二十一年以前ニ召募シタ
ル屯田兵ノ各兵役年期ノ起算方ハ本

條例第六條ニ依ル

明治二十二年及明治二十三年ニ於テ
召募シタル者ノ現役年期ハ屯田兵編
入ノ當日ヨリ起算シ豫備役後備役年
期ハ前役満期ノ翌日ヨリ起算ス

第十條 本條例ハ明治二十四年四月一
日ヨリ施行ス